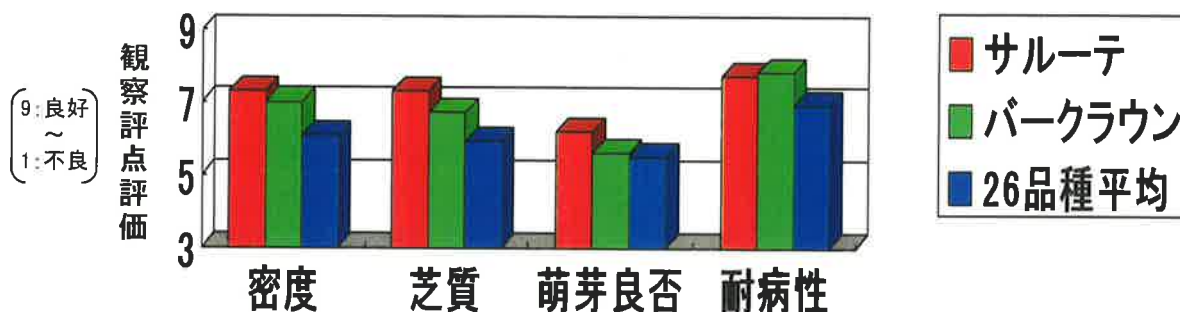


チューイングフェスク:

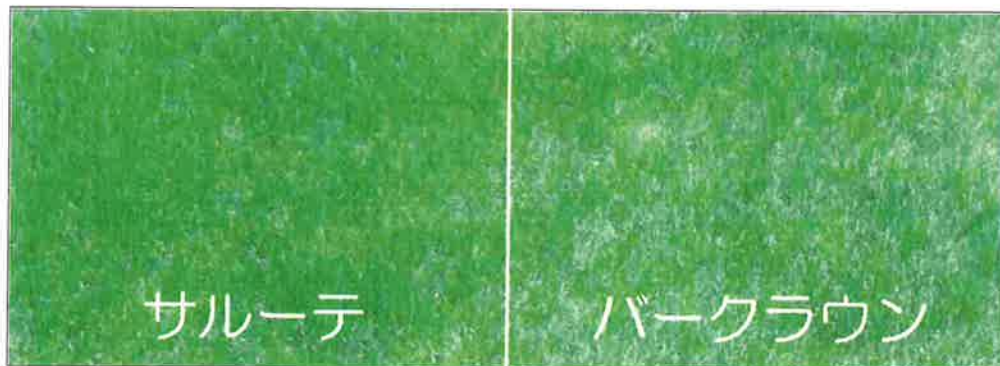
寒地型芝草のひとつで、葉は針状に細く、細葉のフェスク(ファインフェスク)として知られています。その中でも基本的に地下茎を持たないのがチューイングフェスクです。耐寒性、耐旱性、耐陰性に優れ、土壌適応性が広く、緑化用として全国で利用されています。芝草用としても、北海道・東北・高冷地を中心に利用されています。

サルーテの品種特性(当社従来品種 バークラウン と比較):

芝の密度および芝質(ターフクオリティ)はバークラウンより高く、綺麗な芝をつくります。春の萌芽が極めて良好で、早春から美しい緑を提供できます。バークラウンと同程度に、高い耐病性があります。葉色はやや淡い緑色を呈します。



品種特性比較 (北海道長沼町 2006年～ 試験結果)



2010年5月1日
北海道長沼町

用途:

ゴルフ場(ティ・フェアウェイ・ラフ)、パークゴルフ場、庭園、校庭、サッカー・ラグビーなどの競技場、侵食防止、その他芝地に利用できます。

他草種と混播する場合、播種量の5%~30%程度の割合が適します。

適応エリア: 地域区分 I ~ III (右図)

耐暑性は他草種と比べて若干劣るため、夏季高温になる地域(地域区分IV~VI)では高温時に衰退する可能性もあります。

